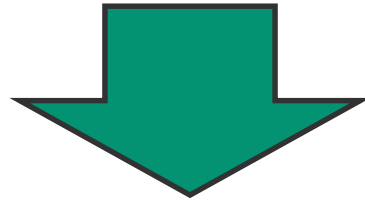


炭山地域における交通空白地 有償運送の更新登録について

1.交通空白地有償運送とは

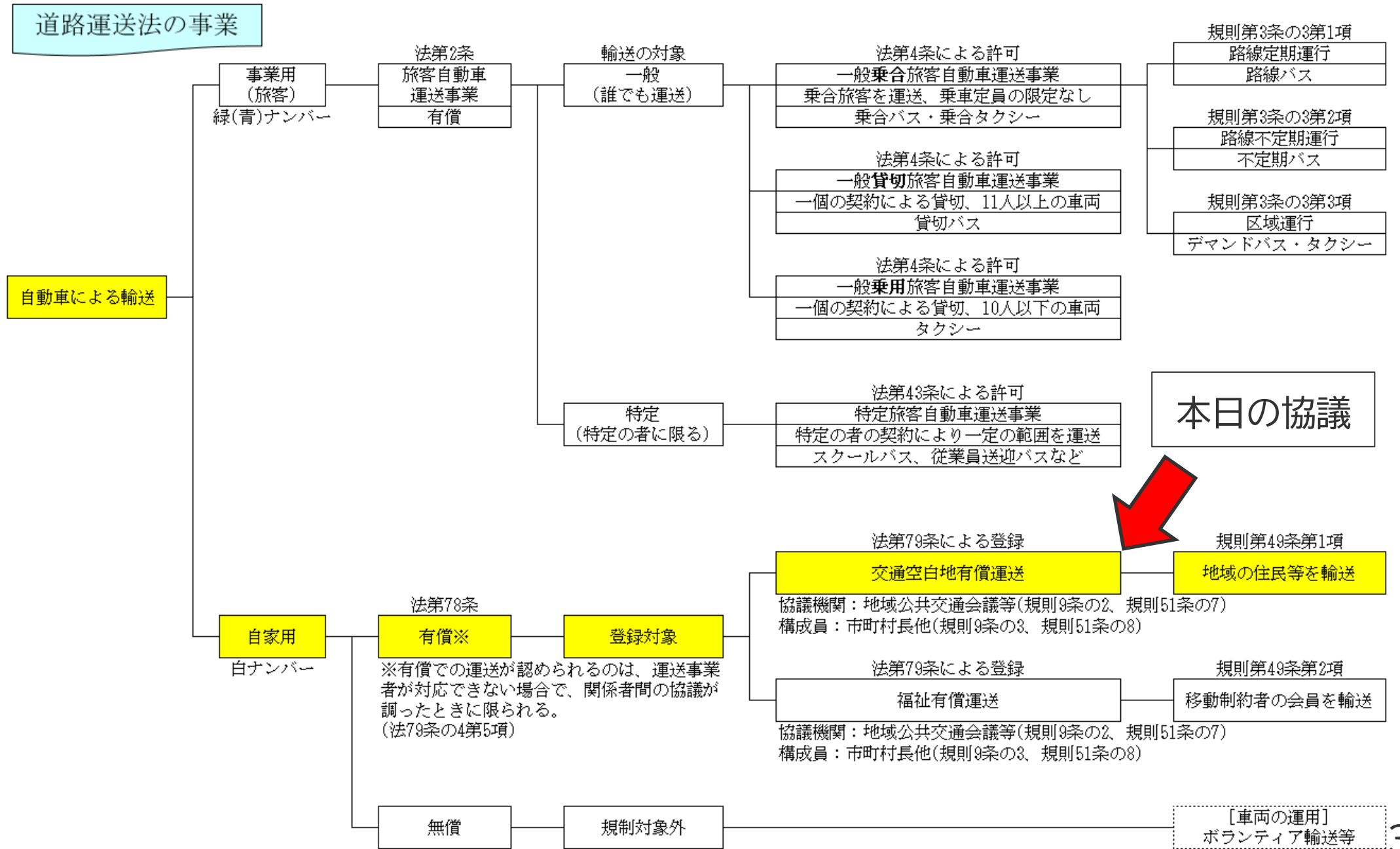
1.交通空白地有償運送とは

一般旅客自動車運送事業者による輸送が困難な地域において、地域の関係者が地域住民の生活に必要な輸送を有償で実施するもの。



実施にあたっては地域の関係者が集まる
地域公共交通会議等で協議
(協議内容：輸送の必要性・区域・対価、旅客の範囲)

1.交通空白地有償運送とは



2.交通空白地有償運送の必要性

2.交通空白地有償運送の必要性(登録時の整理)

(1)交通事業者による輸送

①バス

- ・炭山地域へ至る道路(府道二尾木幡線)に狭隘な箇所があり、バスの運行が困難である。

②タクシー

- ・予約が入れば基本的に運行をしているが、近くに待機車両がない場合は迎車まで時間がかかる。



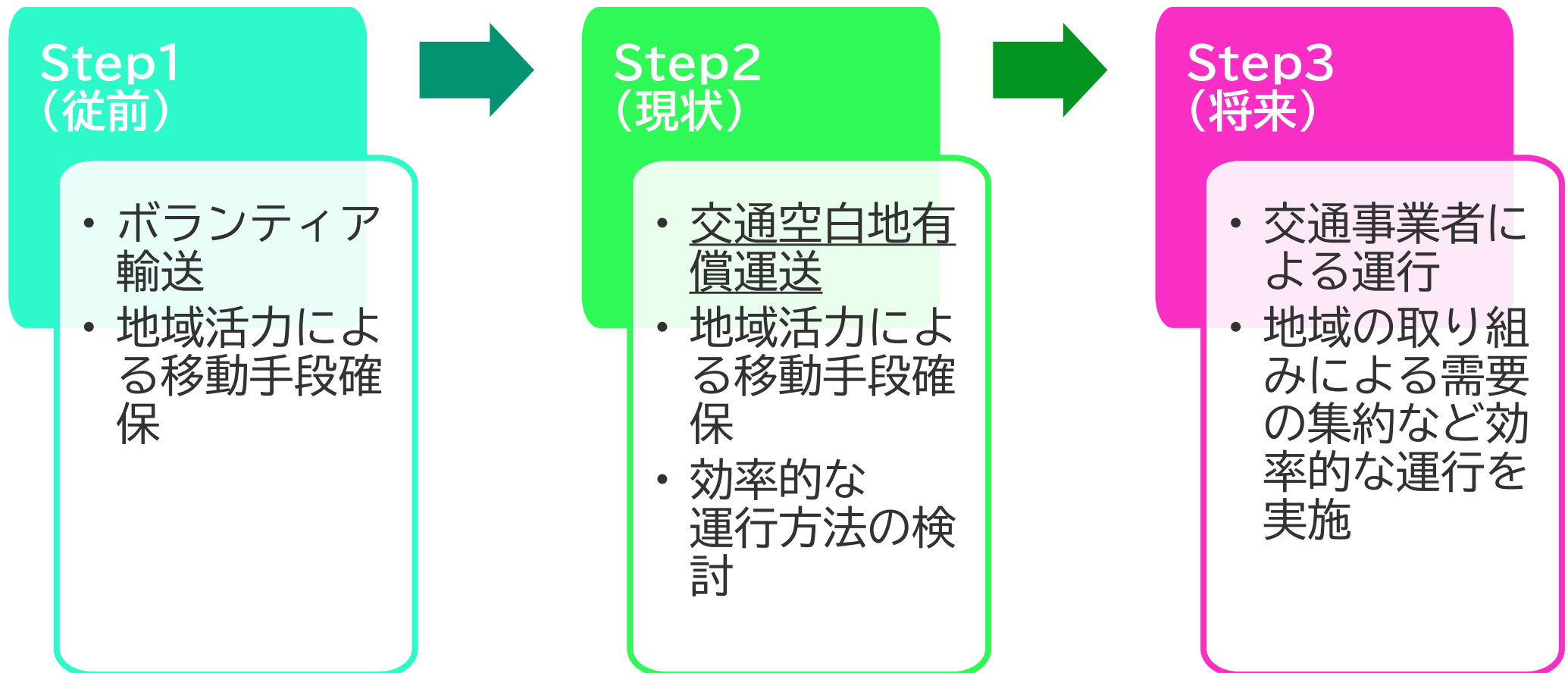
市街地のように交通が便利な地域とは言えない

交通空白地有償運送の実施

2.交通空白地有償運送の必要性(登録時の整理)

(2)将来目標のイメージ

交通事業者による運行に向けて段階的に取り組む



3.交通空白地有償運送の実施状況

3.交通空白地有償運送の実施状況

(1)地域による輸送(令和5年9月時点)

- ・事業名称：助け合い 炭山・交通
- ・運行主体：炭山区町内会
- ・運送区域：炭山⇔六地藏・木幡・平尾台・五ヶ庄
- ・対象者：炭山の住民、親族、来訪者、通勤・通学者
- ・運賃：大人500円/回、中高生300円/回、小学生200円/回
- ・使用車両：18台(内、軽11台) ※全車持ち込み車両

3.交通空白地有償運送の実施状況

(2)利用の状況(令和5年9月時点)

- ・登録者数：利用者43名、運転者21名
- ・運行実績：R4年度 118回
R5年度 27回(9月まで実績)
- ・利用者数：R4年度 129名
R5年度 34名(9月まで実績)

※R1年度(コロナ前、ボランティア輸送)は、
運行実績128回、利用者数154名